

せたな町総合計画策定審議会「第3回福祉文教専門部会」顛末書

- 1 日 時 平成19年11月15日(木) 午前9時30分～午前11時35分
- 2 場 所 せたな町役場第3会議室
- 3 出席委員 9名
田中基己部会長、弦巻淳副部会長、江上恭司委員、佐々木秀雄委員、千葉憲之委員、亀井久子委員、工藤芳江委員、関田禮子委員、桂田富次委員
- 4 欠席委員 1名
羽二生みつ子委員
- 5 せたな町出席者
道高副町長、小林瀬棚総合支所長、井口町民児童課長、近藤北檜山保育所長、駒谷保健福祉課長、高野国保病院事務局長、梅川教委企画総務課長、沖崎生涯学習課長、原田給食センター所長、高島瀬棚高校事務長
(事務局) 成田政策調整課長、福土課長補佐、吉田主任、白戸主事

6 会議の概要

(1) 総合計画原案の確認

原案修正箇所

<基本構想>

8P 将来像のサブテーマの中で、「暮らす」を「暮らせる」に修正。

各委員からの主なご意見と回答

<基本構想>

Q 基本理念の「共生・協働」で、将来のコミュニティのあり方を示す必要はないか。相互扶助など集落の限界をどう考えているか。

A 明確な表現とはなっていないが、豊かな人間関係などの必要性を明記している。基本計画では「新時代のコミュニティの形成」として整理しているが、具体的な施策については、そうした課題を十分考慮して進めなければならない。高齢化などにより町内会活動の限界も聞いている。

<総論>

Q 計画の進行管理で、広く公表するとあるが、どのような方法で。

A 町広報やホームページにより進捗状況を周知したいと考えている。

7 今後の作業

本日の原案修正をもって総合計画案とし、次回審議会で修正内容の確認をし、会長より町長に対し答申することとしております。

第3回審議会 11月26日(月) 午前10時 健康センター
(別途ご案内いたします。)

実施計画の策定について

平成20年度から3か年の実施計画については、より確実性のあるものとするため、平成20年度予算編成作業に合わせて策定することとしております。

基本的な考え方は、継続すべき事業を中心に掲載することとし、新規事業は関係機関などと調整が整っているもののみ掲載いたします。

また、掲載された事業であっても、逐次状況を見ながら実施するとともに、掲載されていない事業についても、緊急性を総合的に判断し実施することとしております。

策定期間は、2月ころを予定していますので、委員の皆さんへは印刷された計画書と一緒に3月に送付いたします。